

令和6年

目黒区教育委員会

第4回定例会会議録

(令和6年1月30日開催)

第4回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和6年1月30日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	川嶋春奈
	教育委員会委員	片山 寛
	教育委員会委員	若井田正文

出席職員	教育次長	樫本達司
	教育政策課長	濱下正樹
	学校統合推進課長	西原昌典
	学校運営課長	関 真徳
	学校ICT課長	藤原康宏
	学校施設計画課長	岡 英雄
	教育指導課長	寺尾千英
	教育支援課長	山内 孝
	統括指導主事	鈴木将大
	統括指導主事	石邑由紀子
	生涯学習課長	斎藤洋介
	八雲中央図書館長	伊藤信之

書記	小見哲一
	矢吹翔太

(議事日程)

日程第 1	報告事項	目黒区情報公開・個人情報保護審査会への諮問の 取下げについて
日程第 2	議案第 2 号	目黒区個人番号の利用に関する条例の一部を改正 する条例（意見聴取）
日程第 3	議案第 3 号	令和 5 年度目黒区一般会計補正予算（第 4 号） （意見聴取）
日程第 4	議案第 4 号	令和 6 年度目黒区一般会計予算（意見聴取）
日程第 5	報告事項	目黒区立目黒南中学校新校舎基本構想について （案）
日程第 6	報告事項	目黒区立目黒西中学校新校舎基本構想について （案）
日程第 7	報告事項	令和 5 年度小・中学校卒業式祝辞について
日程第 8	報告事項	令和 5 年度目黒区立学校・園における学校・園評 価アンケートの実施結果等について
日程第 9	報告事項	令和 5 年度学級閉鎖等の状況（1 月 2 9 日現在）

資料配付

- ・ 令和 6 年 3 月行事予定表

(午前 9 時 3 0 分開会)

○教育長 令和 6 年第 4 回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員は松村委員です。欠席職員はいません。署名委員は若井田委員です。

それでは、日程第 1 を議題とします。

この案件は、個人情報に関する案件ですので、目黒区教育委員会会議規則第 1 1 条第 1 項ただし書の規定に基づき、会議を非公開にすることについて発議します。それでは、同条第 2 項の規定に基づき、討論を行うことなしに、直ちに可否を諮ります。

非公開とすることに賛成の委員の挙手を願います。

(全員挙手)

○教育長 それでは、日程第 1 については、非公開により審議することとします。

(午前 9 時 3 1 分から午前 9 時 3 3 分まで 非公開会議)

○教育長 ここからは会議を公開します。
次に、日程第 2 を議題とします。

(日程第 2 議案第 2 号 目黒区個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例 (意見聴取))

○教育政策課長 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、採決を行います。
本案に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

○教育長 全員賛成ですので、議案第 2 号は原案どおり可決します。
次に、日程第 3 を議題とします。

(日程第 3 議案第 3 号 令和 5 年度目黒区一般会計補正予算 (第 4 号)

(意見聴取)

○教育政策課長 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、採決を行います。
本案に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

○教育長 全員賛成ですので、議案第3号は原案どおり可決します。
次に、日程第4を議題とします。

(日程第4 議案第4号 令和6年度目黒区一般会計予算 (意見聴取))

○教育政策課長 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、採決を行います。
本案に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

○教育長 全員賛成ですので、議案第4号は原案どおり可決します。
次に、日程第5及び日程第6は、いずれも統合新校に関する内容ですので、一括して議題とします。

(日程第5 目黒区立目黒南中学校新校舎基本構想について(案)(報告事項))

(日程第6 目黒区立目黒西中学校新校舎基本構想について(案)(報告事項))

○学校施設計画課長 (資料により説明)

○教育長 これらの件についてご質問等がありますか。

○委員 基本構想素案説明会での質疑応答の要旨についてですが、地域住民の方に概ねご納得いただけたのでしょうか。

例えば、第八中学校での意見・質問として、自転車通学は認められるかという内容の質問があったようですが、これに対し、通

学負担緩和措置を検討していると回答しています。具体的にどのような通学負担緩和措置があるのでしょうか。

○学校統合推進課長 この質問をされた方が、個別具体的にどのような趣旨で質問されたかというところまでは確認できず、全般的なお話としてお答えしました。

昨年策定しました整備方針において、目黒西中学校は第八中学校の校舎で新校として開校してからの4年間、通学に30分以上かかる緑が丘3丁目の地域について、例えば自転車や公共交通機関、スクールバスなどの通学負担緩和措置を検討していくという方針を定めています。

また、自由が丘2丁目、3丁目の一部のエリアについても、公共交通機関の使用を検討していく方針を定めています。

現在、通学負担緩和の検討部会を立ち上げており、その中で保護者の意見を聴きながら具体的な検討を進めているところです。

○学校施設計画課長 住民の方から頂いた質問については、文面にする関係で要旨のみを記載していますが、できる限り丁寧に説明をしており、質問を頂いた方には、納得いかないという雰囲気はなく、よく分かりましたと、今後も丁寧に進めてくださいというような趣旨のお声を頂いています。

○教育長 改めて整理をすると、第十一中学校の場所に置かれる新校舎への通学に当たっては、自転車通学等は想定していないけれども、新校が第八中学校の場所にある間は、通学負担緩和措置として自転車通学を含め検討しているということですね。

その他ご質問等がありますか。

特にないようですので、この報告を受けました。

次に、日程第7を議題とします。

(日程第7 令和5年度小・中学校卒業式祝辞について(報告事項))

○統括指導主事 (資料により説明)

○教育長 説明が終わりました。本日は卒業式祝辞の具体的な文案に関する協議の最終の回となります。

それでは小学校、中学校それぞれの文案についてご意見がありましたら、委員の皆様からお願いをいたします。

○委員 中学校の文案ですが、10行目の「一方で、歴史を振り返ると、自分たちのために開発した技術も、使い方によっては人類の脅

威となる」の文言について、この脅威とは核分裂のことを意味していると思いますが、「核分裂などのように」というような表現を入れた方がより理解しやすいのではないのでしょうか。聞き手の中学生が今まで何が脅威だったのだろうと考えてしまうと思います。このあたりご検討いただければと思います。

小学校の文案について、こちらもすごく良くまとまっていると思うのですが、目をつぶって聞いていると、12行目「その後、現地の学校で英語や航海術を地道に学び」の「地道に」という表現が、小学生には伝わりづらいのではないかと思いました。例えば「たくさん学び」や、「一生懸命学び」などの表現の方が良いのではないかと思いました。

また14行目の「遭難から10年後、努力を重ねて、ついに帰国することができた」について、努力を重ねた対象が勉強なのか、帰国するためなのか不明瞭になってしまうため、この「努力を重ねて」という部分を削除し、「遭難から10年後、ついに帰国することができた」とした方が良いと思いました。

○委員

小学校の文案の10行目「もう一度、振り返ってみましょう」という部分について、前の週は「改めて紹介します」だったと思うのですが、この「もう一度、振り返ってみましょう」という表現が、教室の中の授業のような、学校の先生の話し方のような印象を受けました。どちらの文言でも良いですが、そのことをお伝えしたいと思いました。

また、ジョン万次郎の演劇では、アメリカでの人との温かいふれあいが描かれていました。勉強などの地道な努力に加えて、そのあたりにも触れられたらと思いました。

○教育長

それでは、頂きましたご意見を参考に、小学校、中学校それぞれの文案に、必要な最終的な修正を施しまして、その後区長の確認を経て完成したものを、資料配付にてご確認いただくことといたします。

その他ご質問等がありますか。

特にないようですので、この報告を受けました。

次に、日程第8を議題とします。

(日程第8

令和5年度目黒区立学校・園における学校・園評価アンケートの実施結果等について(報告事項))

○教育指導課長 （資料により説明）

○教育長 この件についてご質問等がありますか。

○委員 7ページの小学校と8ページの中学校の結果について、どちらも小・中連携教育に対する保護者の肯定的回答割合が4年度よりも低下しています。小学校はご説明いただいたように、低学年であれば幼稚園との連携が主であることなどから、質問の項目を検討する必要があるということもよく分かりました。ただし、肯定的回答割合が4年度よりも低下している原因は何なのか気になりました。

中学校については、連携する相手方は小学校で変わりませんので、こちらもなぜ低下しているのかと思いました。

中学生になると、小学校の時よりも学校の情報が親に届きにくくなってくるので、そういった影響もあるかとは思いますが、ただ、なぜ前年に比べて低下しているのかと思いました。

中学校の「事件・事故等の防止」という項目も、昨年度より5ポイント以上低下しています。小学校も同様に低下しているのですが、もう少し数字が上がると保護者の方の安心感につながるのでは良いと思いました。

また今年度、目黒中央中学校にスタントマンが来て、自転車の危ない場面をたくさん見せていただき、大変刺激を受けて帰ってきました。それを小学校で見たら、おそらく小学生はびっくりしてしまうと思うのですが、中学校ではよかったのではないかと思います。ぜひとも毎年度やっていただきたいと思います。

○教育指導課長 新型コロナウイルス対策が新たな段階に移行し、各学校における様々な活動が昨年に比べ活性化しています。小・中連携の取組においても、例えば、挨拶運動や合唱コンクールのリハーサルの見学等を行っております。各学校では、学校評価アンケートの設問項目に具体的な取組を挙げてお尋ねしているところですが、情報発信が不足している部分もあり、「分からない」との回答を多くいただいている状況です。

このことについては、校長ヒアリングにおいても話題にしており、昨年度と同様の取組を実施していても「分からない」との回答が増え、肯定的評価が減少している傾向にあることから、改善策について検討しているところです。

情報発信について、これまで、学校ホームページでの発信に力を入れてきたところですが、私たちが情報を得る手段としては

端末で受ける情報が中心となっている傾向があるため、学校ホームページへのアクセスまでの誘導の工夫、もしくは端末に直接情報を掲載するなど、保護者連絡システムを積極的に活用する上での情報発信の仕方や頻度等を含め、よりよい取組を共有しながら改善を図っていく必要があると考えています。

また設問14「事件・事故の防止」や設問13「安全教育」についても、昨年度と同様に避難訓練やスケアードストレート、交通安全教室を実施しているところですが、保護者の方には伝わっていない部分があると認識しています。今後は、取組は継続して行いながら、どのように情報発信していくか検討していく必要があると捉えています。

なお、中学校で実施しているスケアードストレートは平成27年度から毎年度3校ずつ実施しており、卒業までに一度は全生徒が体験することとしています。

○委員

まず7ページと8ページの概要についてですが、小学校と中学校のいずれも保護者の回収率がかなり低下しているように思います。こちらに関して、現時点でどのようにお考えか伺いたいと思います。それが1点目です。

2点目は、小学校の保護者について、1番「学校の雰囲気」から16番「情報の発信」までの16項目のうち、半数の8項目で5ポイント以上、昨年度よりも肯定的回答の割合が低下しています。

中学校でも、やはり16項目中10項目で5ポイント以上、昨年度より低下しています。

また、生徒の回答について、中学校では5ポイント以上の低下はありませんが、全ての項目において肯定的回答の割合は低下しています。小学校では5項目以外すべて低下しています。

11ページからのグラフを見ると、「十分達成」がどれも下がっています。繰り返しになりますが、「十分達成」と「ほぼ達成」を合わせた肯定的回答の割合も、小学校では16分の8、中学校では16分の10の項目で5ポイント以上低下しています。

このことに対して、現時点でどのようにお考えか、お聞かせください。

○教育指導課長 一人でも多くの保護者の方から回答をいただきたく、回収率を上げていくことは常なる課題であると捉えています。

また、児童・生徒や保護者の評価が下がっている傾向にあるこ

とについては、こちらの数値は平均値であり、平均値だけを基に分析するわけではございませんが、学校の満足度は上げていく必要はあると捉えております。

各学校では自校の分析を丁寧に行ったうえで、令和6年度の教育課程の改善につなげており、また、教育委員会事務局では教育課程の相談日において、学校評価アンケート結果を踏まえたうえで、学校の改善策について指導・助言していきたいと考えています。

○委員 学校評価ですので、自己評価及び学校関係者評価として、各学校がお考えいただくところも、もちろんありますが、評価というのは、これからをより良くするために行うものですので、この結果をどのように分析して、今後の教育委員会としての施策にどう生かすかということについて、ぜひよく分析して、方向性をお考えください。

また適切な時期に、この教育委員会で、どのように分析されてどのようにお考えか、報告を頂けたらと思います。

○教育指導課長 参考資料3「学校・園評価の流れ」に示しておりますように、教育委員会事務局において、学校評価アンケート結果を踏まえて各学校の課題への支援を検討していくことも含めて、学校評価の取組であると捉えています。

各学校がよりよい教育活動を実現していけるよう、教育委員会事務局としても結果を分析し、指導・助言と支援を行いながら、改善に努めてまいりたいと考えています。

○委員 学校評価アンケートの結果は平均値ですので、特にすごく良い評価の学校もありますし、悪い評価、足を引っ張っている学校もあると思います。教育委員会事務局ではそういった学校ごとの評価は把握していると思いますので、評価の芳しくない学校を重点的に指導していくことで、肯定的回答割合の平均値を向上できるのではないかと思います。

○教育指導課長 現在、校長ヒアリングを行う中で自校の結果をどのように捉えているかを聞いています。

各学校では、学力調査、体力調査等のほか、年間を通して様々なアンケートを行っており、これらの結果を踏まえて、教育課程の改善を図っているところです。また、教育委員会事務局においても、学校からの相談を受け、改善に向けての支援を行っているところです。

令和6年度はこの数値の改善が図られることを目標としながら、学校とともに取り組んでいきたいと考えています。

○教育長

保護者の回収率についてですが、紙で実施していた頃は高く、ペーパーレス化してから各学校とも一律に低下してしまったという実態がある中で、学校によっては、独自の工夫によって、ペーパーレス化してからも一定の回収率を残している学校もあります。そのような事例について少しご紹介ください。

○教育指導課長

まず、令和3年度に校数は少ないのですが、試行的にデジタル化を実施した学校があり、当時のデジタル化による保護者アンケートの平均回収率は59.6%と低い状況でした。その中でも、保護者連絡システムでリマインドを出すことで、回収率を上げた学校がありました。

この好事例を踏まえ、今年度実施するにあたり、回収状況が思わしくない場合は保護者連絡システムでリマインドをしていく手法を学校に紹介し、その結果、令和3年度と比べ、デジタル化での保護者アンケート回収率は8ポイント上昇しました。

その中でさらに高い回収率であった学校では、保護者連絡システムのリマインドとは別に、未回答者に対し、個別にお声がけするといった方法で取り組んでいます。

幼稚園は、任意ではありますが記名欄を設けながら、回答していただいていない方にお声がけを行うことで、母数は少ないですが回収率を上げている実態があります。

回収率や質問項目数など、デジタル化したことによる課題も見えてきたことから、令和6年度は教育委員会事務局で学校・園評価検討委員会を設置し、改善策を検討していきます。

○教育長

先ほど話に出ました校長ヒアリングの際に気づいたのですが、校長、園長によって、「教職員」の定義にばらつきがありました。

例えば、ある校長は教員だけにしており、ある校長はいわゆる正規の教職員の範囲にしており、またある校長は会計年度任用職員も含めた範囲にしていました。そのあたりを整理しておいてほしいと思います。

その他ご質問等がありますか。

特にないようですので、この報告を受けました。

次に、日程第9を議題とします。

(日程第9 令和5年度学級閉鎖等の状況(1月29日現在)(報告事項))

○学校運営課長 （資料により説明）

○教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
議事の都合により暫時休憩とします。

（午前１０時１７分から午前１０時１８分まで 休憩）

○教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。
３月１９日の教育委員会は休会とします。

資料配付
・令和６年３月行事予定表

○教育長 その他なにかありますか。
特にないようですので、以上で本日の定例会を閉会します。

（午前１０時２０分閉会）